

## 五戸総合病院での研修を終えて

令和7年2月

順天堂大学医学部附属浦安病院 研修医 久保碩生

私は順天堂大学医学部附属浦安病院研修医2年目の久保碩生です。2025年の2月に、1ヶ月間五戸総合病院で地域研修させていただきました。

2月の五戸の地域研修が決まった際、不安もありましたが、楽しみが大きかったです。自分より先に回っていた同期の話などを聞いて、期待に胸膨らませ、今回五戸にやってきました。五戸で働いて、やりがいを感じたところは、普段の研修病院より裁量権を持って治療方針を決められる点でした。普段の研修病院では良くも悪くも研修医も指導医もたくさんいるので、研修医が持つ裁量権や責任は少な区になります。五戸にきて外来で1人で患者さんを診察し、どう治療していくのか、帰宅させるのか、入院させるのかなど、自分で決めることができるというのはこれまでになかった経験でした。患者さんが入院したら自分で方針を決め、御家族にICし、病態の変化も自分で対応していく、こういった来年以降やらなければならないプロセスを相談しやすい先生方がいらっしゃる五戸で経験できて本当に良かったです。裁量権を持たしてもらい、勤務することで医師の責任の重さを再確認する

ことができました。

昨今、地域医療の人員不足が問題だと、医学部の授業などでもよく聞かされますが、実際に普段働いている病院よりも人手が少ない病院で勤務経験できたことも良かった点だと考えています。患者さんの高齢化を肌で感じましたし、地域の病院が抱える問題を少しは知れたと思います。今後、ますます地域での医師不足は加速していくと思います、医療の集約化などして対応していくしかないと思うのですが、そのためには円滑な社会調整などコメディカルとの連携がより一層重要になっていくと感じました。

1ヶ月間五戸で研修させていただいて、貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。胃カメラや大腸カメラなどの手技もかなりさせていただき、大変楽しかったです。ここで経験したことを糧に来年以降も頑張ろうと思います。1ヶ月間ありがとうございました。